

# 北海道交運共闘が第9回総会

## 新事務局長に建交労道本部の宮澤書記長

5月13日に北海道交運共闘の第9回定期総会が開催され、2021年度運動方針を全体の拍手で可決しました。新年度役員は三上友衛議長（道労連議長）、森国教副議長（建交労）などを再選し、新しい事務局長には建交労道本部の宮澤毅書記長を選出しました。当面のとりくみとして北海道労働局への要請などを具体化することとしています。

## リヴィノールシステム分会に回答

札幌合同支部リヴィノールシステム分会は、会社から5月12日に春闘・夏季一時金の回答を受けました。賃金回答は、正職員の基本給＝平均2,440円引き上げ（前年2,827円/4月1日改定）、準職員・パートナー職員＝定期昇給は時間給一律3円、勤続加算4円（＝1年以上の勤務者/6カ月以上勤務者は2円/前年同額・5月16日改定）で、「初任時間給およびアルバイト職員の時間給の引き上げは困難」としています。夏季一時金については、正職員＝1.3か月分、準職員＝0.85か月分、パートナー職員＝0.56か月分（いずれも前年同率）で、継続雇用職員・アルバイト職員については「支給できない」との回答です。夏季一時金については、正職員1.3か月分、準職員0.85か月分、パートナー職員0.56か月分（いずれも前年同率）です。分会では4月21日に要求書を提出していました。

## 第92回メーデー北海道集会 オンラインで開催

第92回メーデー北海道集会は5月1日に札幌市・中島公園で参加人数をしぼって開催する準備をすすめていましたが、新型コロナの感染拡大のもとオンラインでの開催になりました。集会は午前中、午後、夜の3部にわたってYouTubeで配信されました（アーカイブで録画を視聴できます）。

なお、写真コンテストの審査委員長に昨年続いて建交労道本部の宮澤書記長があたり、建交労札幌合同支部の西浦さんがブロンズ賞に入選しました。また、「あっちもこっちもNET」では旭川支部、美幌支部、北海道鉄道本部の各支部から各地の写真が寄せられて、全道の仲間がつながるメーデーになりました。

## JR北海道経営協議会で2020年度決算報告

4月28日にJR北海道の経営協議会が開催され2020年度の決算報告がおこなわれました。新型コロナ感染拡大の影響を大きく受けてJR北海道グループ全体の営業収益は553億円の大幅な減収となり、連結経常利益は446億円の赤字、鉄道部門単体での当期純利益は372億円の赤字が計上されて会社発足以来の最大額と報告がされました。組合からは人件費の削減に関して賞与の減額と役員報酬のカットについて考えを述べるとともに、廃止された日高線と札沼線の施設撤去費用について何箇年計画でおこなわれ、特に日高線では海岸浸食を防ぐための工事費用は公共鉄道維持存続の立場から北海道の責任でおこない支援強化の一環として実施されるよう北海道に求めることを進言しました。また、国から300億円の出資がおこなわれ資産が強化されることが報告されましたが、使用目的と使用方法によって社員の労働条件が低下されることがないことを確認し、社員が展望を開ける活用方法の検討を強く求めて意見交換を終えました。  
(北海道鉄道本部委員長 竹田吉宏)